



らみまる通信

JAPAN COAST GUARD

台風一過、思わぬところで！

海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室

NO. 5号
平成17年9月22日

先般台風14号が猛威を振り九州各地において甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。「台風一過」とは言いますが、天気が回復し空は晴れてもマリンレジャーには要注意です。

【漂流物】

世界各国とつながる海には色々なものが漂流しています。海上保安庁ではパトロール中に発見した漂流物や通航船舶等から情報の提供があったもので船舶交通の障害になるものについては、調査を実施し可能であれば除去を行うほか、航行警報の発出やインターネット上で注意を呼びかけています。今回の台風14号襲来に関しては、宮崎、鹿児島両県の太平洋側において多数の流木が確認されたほか、大隅海峡では荷崩れを起こしたコンテナ船からコンテナ8個が流出し、後日、坊ノ岬付近の海岸に漂着したのも発見されています。これら漂流物は、氷山の如く海上に突出している部分が小さい場合があり、水上バイクのように目線が低ければ発見しづらくなるので要注意です。

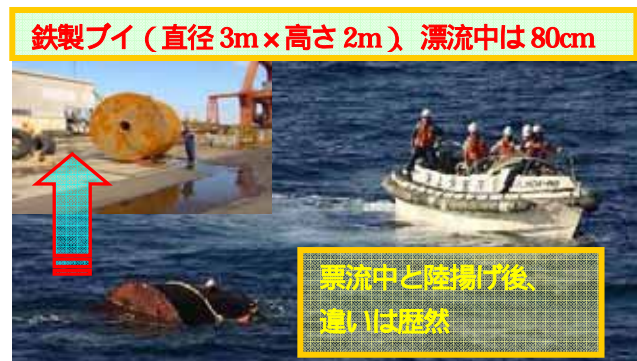
(漂流物等の緊急情報は最寄りの海上保安部のHPで確認できます)

【がけ崩れ】

同様に、大雨の影響により、がけ崩れが発生していることも考えられますので、磯釣りなどで山越えして釣行される場合は通い慣れた山道であっても十分注意してください。加えて、磯場の状態も漂着物などで様相が一変している可能性があります。

【情報提供を】

万一、上記のような状況に遭遇された場合は、事故防止の観点から情報提供を行う必要がありますので最寄りの海上保安部署までご連絡をお願いいたします。



私の町、私の母港



ウェイクボードの事故に気を付けて！

熊本・宮崎・鹿児島3県において、今夏(7・8月)の2ヵ月間に発生したマリネジャーに伴う海浜事故者数は、**27人で昨年に比べ1人の増加**、これに伴う死亡・行方不明者数は、**10人で昨年に比べ3人の減少**でした。ところで、今夏の事故で新しいマリネスポーツによる事故が発生しました。それは「**ウェイクボード**」(wakeboard)の事故です。**7、8月に2件、今月11日、12日にも相次いで発生**しました。



では、ウェイクボードってどんなマリネスポーツなのでしょう？

「ウェイクボード」って？

1980年代にアメリカで「波がない時でもサーフィンができないか。」との発想から「サーフボードをボートで引っ張ってみよう。」と誕生したマリネスポーツだそうです。最近、テレビCM等でも放映されていますが、水上スキーのようにモーターボート等に引かれ、引き波を利用してジャンプやターンをして楽しむマリネスポーツです。水上スキーに比べ比較的低速(時速30Km/h程度)でも楽しめることから、年齢や性別を問わず人気が高まっているようです。

どんな事故が発生したの？

- ・7月には、20代の女性が、スタートの立ち上がりに何回も失敗し「**股関節脱臼**」で病院に搬送され、**2週間の入院加療**が必要と診断されました。
- ・8月には、20代の女性が、ピックアップのため接近してきた**ボートのスクリュー**に接触し、**大腿部に10cm四方の切創**を負いました。
- ・9月には、男子中学生が、着水時にバランスを崩し転倒、**ボードが頭部に当たり頭蓋骨骨折及び脳挫傷の疑いで緊急手術**が行われ、その後**2週間の入院加療**が必要と診断されました。
- ・同じく9月、20代の男性が、遊走中に突然嘔吐し、手足のしびれ等の体調不良を訴え、数分間意識を失ったため救急車で病院に搬送されました。検査の結果、**脳内出血が認められ緊急手術**が行われましたが、幸いにも意識を回復しました。(脳内出血と競技中の転倒との因果関係は不明)

どんなことに注意したら良いの



- ・体力、技術にあった遊走をしましょう
- ・体調管理をしっかり行い、無理をしないようにしましょう
- ・救命胴衣は必ず着用し、ヘルメット等の安全具を装着しましょう
- ・岩礁や漁具の設置など、周辺海域の状況を確認しましょう
- ・ボート等を操縦する人は、見張りの励行とともに、人に接近するとき(人を船上に揚げる時など)には、細心の注意を払いましょう
- ・事前に支援と連絡体制の確認を行いましょう

写真提供：九州女子大学ボードスポーツ同好会

